

校長室より



薩摩川内市立里小学校



みさごたより

Espressivo Part10

2022. 7.15 (金)



文責：永野
No. 5 (計 27)

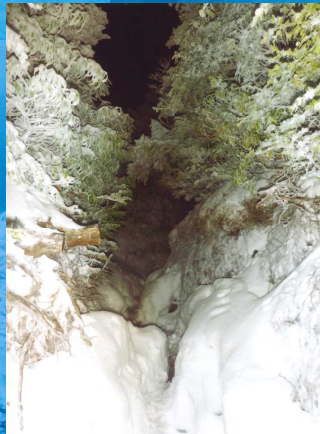
鹿児島県の中に北海道(札幌)と年間平均気温が同じ場所があるのを知っていますか？

そして 底なし沼からの脱出法 (7月14日県民の日に寄せて)

昨日、7月14日は鹿児島県民の日です！そこで今日は甑島の話からはなれて、鹿児島県のほかの特徴的な場所の紹介をしたいと思います。そこでタイトルにあるお話となります。

こ~ちょうせんせい、そんな場所あるわけないじゃないですかぁ~ ここ南国鹿児島ですぅ~
と思った人、下の写真が証拠写真です。私が撮ってきました。

7:16 初日の出

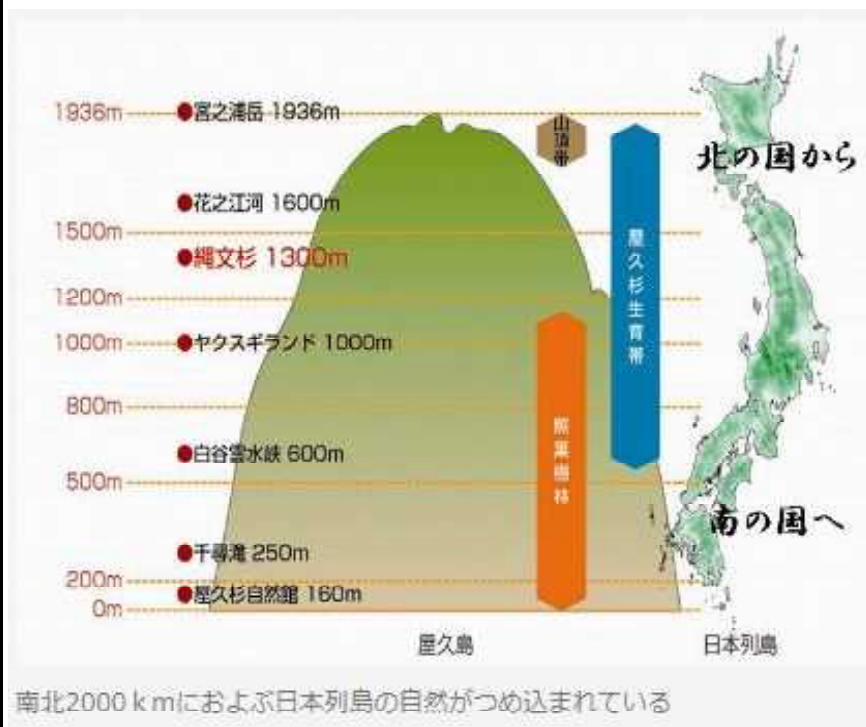


暑い今だからこそ、涼しく感じられる？かな？写真は真冬の1月1日~2日にかけてですが気温はマイナス13℃です。手袋をはずして、近くの岩を素手でさわったりしたら、手の表面がすぐに凍り付き、ひっついてはずれなくなります。大変危険です。

ちなみ左上の写真は、平成22年の初日の出です。この年は1月1日、2日とも県内どこも天気が悪く、初日の出は見られなかった年ですが、水平線と厚い雲の間から1分間ほど拝むことができました。この高さだから見るのができたのですが、きっとこの年初日の出を見たのは県内では私だけ？だと思えます。果たしてここはどこなのでしょう??? この場所に行くには、一番近い淀川口から入って、夏でも通常歩いて片道6時間かかります。答えは(裏面へつづく)



← ここ！ 屋久島 なんと甌島よりさらに南の島です。ええっ？ と思うでしょう。この屋久島、実は島全体がすごく高い山々でできていて、九州で一番高い宮之浦岳（1936m）二番目に高い永田岳（1886 m）ほか1800 m級の山々が連なっています。気温は100 m上がるとおよそ0.6℃下がるので、宮之浦岳山頂付近は、同じ島の海岸付近より12℃も低いんです。



つまり、この屋久島、左図のように、高さによって日本の南の国から、北の国まですべての気候が一つの場所につまみついていて、その気候帯に応じた植物を登山しながら見ることができる世界的にも貴重な場所なんです。そのことから1993年日本で最初のユネスコ世界遺産に登録されています。

宮之浦岳山頂付近の年間平均気温は7℃、札幌と同じということになります。

この屋久島は、夏場は多くの登

山客でにぎわうのですが、冬は過酷な環境に変わるため、観光客がとても少なくなります。そのため、冬山登山の可能性を調査するための登山でしたが、この時はよくても翌年が大変でした。

前のページの写真の時は、天気もよかったので朝の3時前からライトをつけて登り、雪が深くなるとアイゼン（鉄のつめ）を登山靴につけて雪をかき分けながら4時間弱で山頂に到達して初日の出に間に合ってます。が、翌年普通に山小屋で1泊するつもりでフル装備（20kgぐらい）背負って朝から登ったところ、途中2mぐらいの雪の吹きだまりに落ちて動けなくなりました。こういう時へたに暴れるとよけい沈んでしまいます（底なし沼も一緒）。冷静に片手ずつ抜き、手を広げ次は、片足ずつと雪の上の表面積をとにかく大きく広げ、片手、片足一つずつうつ伏せの状態で見みこみを押さえながら立てる安全な場所に移動します。これは山小屋まで行けないと判断し、引き返し



ていると今度は吹雪に見舞われホ7ト7外（雪で視界が全部真っ白になる現象）も～っ↓とせっせと雪穴ほって泊まり、翌朝帰ってきました。私は雪山経験も豊富でそれなりの装備を持っていますから、よい子のみなさんはまねをしてはいけませんよ。屋久島もとっても魅力的です！
みんなもいろいろ調べてみてくださいね。おしまい。